

登録コード	L1532500	開講年度	2026				
担当教員	今井 章			副担当			
授業科目	神経・生理心理学						
英文授業名	Neuro- and Physiological Psychology						
授業タイトル	神経・生理心理学						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	月曜・4時限
講義室	人文第1講義室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前が対象】過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力			過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力が身につくようになる。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降が対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身につくようになる。			
	【2023年度以降が対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身につくようになる。			
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	まず、人の身体の生理学的・生物学的基礎過程を概観する。その後、心の座として考えられている「脳」の仕組みについて解説する。これらを基礎知識として、これまで心理学、生理学、神経科学、および、その他の関連領域において、実験的研究や症例などによって蓄積されてきた具体的な知見を紹介しながら、心と身体の関係についての専門知識を深化させる。						
授業計画	第1週 講義ガイダンス 第2週 境界領域としての生理学的心理学・神経心理学 第3 - 4週 行動の生理・生物学的基礎 第5 - 6週 神経系と神経伝達の機構について 第7 - 8週 行動の生理的対件 ―脳波と行動― 第9 - 10週 行動の生理的対件 ―事象関連電位と行動― 第11 - 12週 高次脳機能障害の概要 ―人格・行動の変容― 第13 - 14週 高次脳機能障害の概要 ―うつ病と神経可塑的变化― 第15週 まとめと授業アンケート実施 定期試験なし なお、状況に応じて予告した内容を変更することがある。						
成績評価の方法	講義中に随時、行われる小テストの成績と期末レポートの成績を1：2の比率で総合的に評価する。						
成績評価の基準	授業での小テストと期末レポート課題において、9割の問題に適切に答えられる場合は『卓越している』、8割の問題に適切に答えられる場合は、『かなり上にある』、7割の問題に適切に答えられる場合は『やや上にある』、6割の問題に適切に答えられる場合は『その水準にある』と評価する。						
事前事後学習の内容	授業で紹介される参考書の中から、講義で述べられる予定のテーマについての事前学習(2時間)を行って授業に臨む。講義で解説されて学んだことと小テストで問われた問題を事後学習(2時間)とする。						
履修上の注意	心理学概論 〃, またはそれに相当する授業科目を履修していることを前提に講義を進める。教科書は特に指定しないが、講義第1週目に紹介する参考書の中から、最低1冊の専門書を講義の終了時まで読んで読むこと。						
質問、相談への対応	木曜日の12:30～13:30のオフィスアワーにて対応する。事前にメール(imaiakr@shinshu-u.ac.jp)にて予約をする。						
教科書	使用しない。授業時に適宜、資料などを配付する。						
参考書	J.L. アンドレアッシ著 今井章監訳 2012(2007). 心理生理学 北大路書房 7,700円(税込) 以上の他にも授業時に適宜、紹介する。						